

どを立てたいと考えます。

市長就任8カ月を振り返って

Q 市長は民間企業の感覚で行財政改革をすると、いろいろな公約やたくさんの方々の努力目標を掲げ当選されました。初めての新年度予算も提案され、就任8カ月を振り返ってのいまの心境をお尋ねします。

A よくまあこれほど加西市は後から後から問題が湧いてくるなというのが正直な印象です。過去に適切に処理されなかった問題、積み残し、先送り、あるいは放置されてきた問題の対応をいま迫られています。

A 税金、水道料金などの市民負担を軽減します。これは私の公約です。幾ら軽減するかは努力目標です。市民の皆さんに負担増を求める前に、まず市役所内部の経営合理化、業務の改善を進める考えです。その上で広域水道ネットワークを構築したり、新規の水源地開発、万願寺川沿い、田原・網引地区で包蔵されている水の新規開発、あるいは既存の受水単価、市川の水、それから県水の受水単価の減額交渉、そして糞屋ダムの農業用水の転用等もあります。下水道料金というのは水道料金に連動して増えていますので、個人や企業での節水を誘導するのもコスト削減の大きな方法です。あらゆる手段を講じて、最大限の努力をしていきます。交渉相手もあるのですが、いつまでということには言えませんが、私の二期中にできるだけ早い段階でめ

加西市の将来のためには何が正しい選択かを、いつも最終的な判断基準として市政執行しています。明確なビジョンを示し、正しい判断を下して、着実によい結果を出すことで、職員はもとより市民の皆さんからも徐々に評価されている、あるいは今後ともいくものと考えます。最大限の力を振り絞ってこの7カ月余り、私は誠実に市政執行にあたってきたつもりです。

バイオマスタウンの実現に向けて

Q バイオマスの環づくり交付金をどう有効に使うか、バイオマスタウン実現に向けてやっていくようにしているのか。

A 環づくり交付金の取り組みで、バイオマスの種類に応じた利活用の促進は、平成18年度は食品バイオマスでやっていくが、今後は市民啓発、PR等、地域別、組織別、テーマ別で学習会等をやっていきます。さらに市民の盛り上がりや、啓蒙活動の中で出てくる問題点等も協議し

て、種類に応じた利活用の促進、その中でバイオマス資源に係る運搬システムの構築も出てくるのではないかと思います。廃棄物系、植物系の利活用に係るさまざまな課題検討や意見交換を行う協議会の立ち上げがまず先決で、県の技術センターや普及所、一般農家、市民の方、事業者、村興しの団体の方々、それから森林組合、農会、自治会といった方々から本格的な協議会への動き、またソフト事業が出てくるのではないかと思います。

加西市には、菜の花、トウモロコシ、芋類、米という穀物バイオマスがあるが、どのような作物がいいのかも勉強会で協議していく必要があります。市民啓発、PRとは別に、加西市の構想を使って研究を呼びかける企業説明会なども勉強会とあわせてやっていきたいです。

乳幼児医療費無料制度の拡充

Q 昨年、乳幼児医療の無料制度は3歳未満

児まで拡大された。近隣では、小野市が独自に乳幼児医療の無料制度の拡充を行い、さらに小学校3年生まで拡大を図られている。多可町でも、小学校就学までの医療費無料制度を実施される。近隣の自治体に遅れをとらない手だてが少なくとも必要。財政が非常に厳しいが、一定の改善が見られるので、早急に乳幼児医療費のさらなる拡充を図るべきではないか。

A 当市の乳幼児医療費は、昨年7月、3歳未満まで医療費無料化を拡大しました。一方、財政再建推進計画のもとで、国、県の基準を上回る施策、市単独個人給付事業等は必要性を精査するものとしています。

財政再建を進めながら、少子化対策の一環として3歳未満まで拡充したところですが、加西市の現状ではさらに乳幼児医療無料化の拡大は、乳幼児医療費が伸びる中、多額の費用を要し、実施は困難と考えます。少子化対策は重要課題であることは十分認識しています。